
基礎老化学会サーキュラー 第 116 号

日本基礎老化学会 Japan Society for Biomedical Gerontology

2021年3月29日 発行



2020 年度下期は再び緊急事態宣言が発令され、制約の中、研究活動を行いました。首都圏も宣言が解除されましたが、余談を許しません。引き続き、学術集会も Web 開催やハイブリッド開催が続くと予想されます。Web 開催の良い面を取り入れつつ、対面開催の大切さに改めて気づかされます。さて、学会活動の現況をお知らせします。6 月の第 44 回大会も完全ハイブリッド開催で双方向の演題発表も行えるようです。多くの会員の皆様に御参加頂き、本会を盛り上げていければと願っています。引き続き、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

庶務理事 清水孝彦

【目次】

・ 2020 年度下期ニュース

- 1、第 1 回（2020 年）市民フォーラムが松本で開催
- 2、第 41 回（2020 年）日本基礎老化学会シンポジウムが Web 開催
- 3、第 44 回（2021 年）日本基礎老化学会大会が名古屋でハイブリッド開催に
- 4、第 2 回（2021 年）市民フォーラムが山陽小野田市で開催決定
- 5、第 42 回（2021 年）日本基礎老化学会シンポジウムが山陽小野田市で開催決定
- 6、第 45 回（2022 年）日本基礎老化学会大会が京都で開催決定
- 7、第 46 回（2023 年）日本基礎老化学会大会が横浜で開催決定
- 8、IAGG-AOR2023 と第 33 回（2023 年）日本老年学会が横浜で連続開催
- 9、理事改選で新理事決定
- 10、2021 年 4 月から学生会員年会費無料化と 9 月から事務局外部委託開始

・ 日本基礎老化学会関連行事 今後の開催予定

- ・ 事務局からのお知らせ
- ・ 会員動向
- ・ 賛助会員一覧
- ・ 理事会議事録（第 3 回、第 4 回、第 5 回）

・ 2020 年度下期ニュース

1、第 1 回（2020 年）市民フォーラムが松本市で開催

第 1 回（2020 年）市民フォーラム（世話人：丸山 光生 理事長）が 2020 年 11 月 7 日（土）～8 日（日）に松本市の信毎メディアガーデンで収容人数を半数に制限して、リアル開催された。一部プログラムは YouTube による Web 配信された。基礎老化研究誌 45-1 号に報告記掲載。

<http://www.jsbmj.jp/products/products.html>

2、第 41 回（2020 年）日本基礎老化学会シンポジウムが Web 開催

第 41 回（2020 年）日本基礎老化学会シンポジウム（世話人：堀田 晴美 理事、三浦 ゆり 理事）は 2020 年 11 月 13 日（金）～14 日（土）の 2 日間に YouTube によるオンデマンド配信された。基礎老化研究誌 45-1 号に報告記掲載。

<http://www.jsbmj.jp/products/products.html>

3、第 44 回（2021 年）日本基礎老化学会大会がハイブリッド開催に

第 44 回（2021 年）日本基礎老化学会大会（大会長：丸山 光生 理事長）・第 32 回日本老年学会がハイブリッド開催で準備中。初日 2021 年 6 月 11 日（金）の合同会シンポジウムは Web オンデマンド開催、6 月 12 日（土）～13 日（日）の当分科会は国立長寿医療研究センター（予定）での対面開催と Zoom による双方向配信のハイブリッド形式で準備が進んでいる。

<http://www.jsbmj.jp/2021jsbmj/Index.html>

4、第 2 回（2021 年）市民フォーラムが山陽小野田市で開催決定

第 2 回（2021 年）市民フォーラム（世話人：嶋本 顕 評議員）が 2021 年 11 月 27 日（土）に山陽小野田市の山陽小野田市民会館で開催決定した。

5、第 42 回（2021 年）日本基礎老化学会シンポジウムが山陽小野田市で開催決定

第 42 回（2021 年）日本基礎老化学会シンポジウム（世話人：嶋本 顕 評議員）は 2021 年 11 月 28 日（日）に山陽小野田市の山口東京理科大学で開催決定した。

6、第 45 回（2022 年）日本基礎老化学会大会が京都で開催決定

第 45 回（2022 年）日本基礎老化学会大会（大会長：細川 昌則 監事）が 2022 年 7 月に京都市で開催されることが決定した。

7、第 46 回（2023 年）日本基礎老化学会大会が横浜で開催決定

第 46 回（2023 年）日本基礎老化学会大会（大会長：石神 昭人 副理事長）が 2023 年 6 月 16 日（金）～18 日（日）にパシフィコ横浜ノースで開催されること

が決定した。本会は第 33 回（2023 年）日本老年学会総会に含まれ、IAGG-AOR2023 との連続開催となる。

8、IAGG-AOR2023 と第 33 回（2023 年）日本老年学会が横浜で連続開催

IAGG-AOR2023 と第 33 回（2023 年）日本老年学会がパシフィコ横浜ノースで 2023 年 6 月 12 日（月）～15 日（木）および 16 日（金）～18 日（日）に連続開催。

<http://geront.jp/iagg/index.html>

9、理事改選で新理事決定

選挙管理委員会（樋口 京一 委員長）により、2021 年 2 月 22 日から 3 月 1 日まで「理事選挙」が電磁投票で行われた。開票の結果、4 月 1 日から 2 年間の新理事が決定した。また 3 月 12 日から 18 日まで「理事長互選」が 2 重封筒による無記名 1 名投票で行われ、新理事長が内定した。

<http://www.jsbmj.jp/news.html>

10、2021 年 4 月から学生会員年会費無料化と 9 月から事務局外部委託開始

学生会員数増と大会での演題登録増を目的に、2021 年 4 月から学生会員年会費が無料化となる。また、会員管理、会費徴収および源泉徴収税対応を効率的・円滑に進めるため、毎日学術フォーラム社と契約締結した。2021 年 9 月 1 日から事務局委託が開始。

<https://maf.mynavi.jp>

・日本基礎老化学会関連行事 今後の開催予定

【年会】

2021 年

第 44 回日本基礎老化学会大会（第 32 回日本老年学会総会 6 学会合同会）

大会長：丸山 光生（国立長寿医療研究センター）

日時：2021 年 6 月 11 日（金）～13 日（日）

場所：国立長寿医療研究センターと Web によるハイブリッド開催

Zoom による外部からの一般演題発表、および他 5 学会の発表視聴可

2022 年

第 45 回日本基礎老化学会大会

大会長：細川 昌則（京都光華女子大学）

日時：2022 年 7 月

場所：京都市予定

2023 年

第 46 回日本基礎老化学会大会（第 33 回日本老年学会総会 7 学会合同会）

大会長：石神 昭人（東京都健康長寿医療センター）

日時：2023 年 6 月 16 日（金）～18 日（日）

場所：パシフィコ横浜ノース

【シンポジウム】

2021 年

第 42 回日本基礎老化学会シンポジウム

世話人：嶋本 顕（山口東京理科大学）

日時：2021 年 11 月 28 日（日）

場所：山口東京理科大学（山口県山陽小野田市）

2022 年

第 43 回日本基礎老化学会シンポジウム

世話人：小野 悠介（熊本大学）

日時：2022 年秋

場所：未定

【市民フォーラム】

第2回日本基礎老化学会市民フォーラム

世話人：嶋本 顕（山口東京理科大学）

日時：2021年11月27日（土）

場所：山陽小野田市民会館（山口県山陽小野田市）

【関連国際学会開催予定】

2022年

The 22nd World Congress of Gerontology and Geriatrics (IAGG 2022)

Date: June 12-16, 2022

Place: Buenos Aires, Argentina

<http://www.iagg2021.org/>

2023年

IAGG2023 Asia/Oceania

Date: June 12-15, 2023

Place: Pacific Yokohama North

<http://geront.jp/en/iagg/index.html>

2025年

The 23rd World Congress of Gerontology and Geriatrics (IAGG 2025)

Date: August 3-7, 2025

Amsterdam, Netherland

老化関連の国際会議や海外の老化研究施設をまとめた web site があります。

留学先や海外で開催される老化研究関連学会を探すのにご利用ください；

JenAge Information Center

<http://info-centre.jenage.de/ageing/meetings-calendar.html>

・事務局からのお知らせ

会員事務、学会事務等についてのお問い合わせは以下の本会事務局へお願いします。本学会をより良いものにするためには会員の協力が不可欠です。学会への要望等についても遠慮なく事務局へお寄せください。お待ちしております。

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35-2 東京都健康長寿医療センター研究所内
日本基礎老化学会事務局
FAX: 03-3579-4776、e-mail: secretariat@jsbmg.jp

【日本基礎老化学会入会のご案内】

入会希望の方は、日本基礎老化学会 web site (www.jsbmg.jp/contact.html) に掲載されている入会申込書 (MS Word 版) に記入し、事務局へ e-mail か郵便で送付してください。学生会員として入会の場合は、学生証などを PDF ファイルで添付してください。

【会費納入のお願い】

会費は正会員が 7,000 円 (理事 15,000 円、評議員 10,000 円)、学生会員は無料 (2021 年 4 月 1 日から) です。未納分についての確認は、事務局 (secretariat@jsbmg.jp) にお問い合わせください。

※学生会員は学生であることを証明できる書類を提示してください。大会に参加する場合は事務局受付での学生証明書提示も可能です。

【銀行振込の場合】

銀行振込の場合は、振込者の名前が事務局に通知されません。お手数ですが、振込んだ際には事務局にお知らせください (secretariat@jsbmg.jp)。

みずほ銀行 (銀行コード 0001)

大山支店 (支店番号 628)

普通 1034063

名前 (口座使用者): 日本基礎老化学会

【郵便局利用の場合】

郵便局間の振込

口座記号番号 00170-3-46043

加入者名 日本基礎老化学会

他金融機関からゆうちょ銀行に振り込む際の振込用口座番号

〇一九 (ゼロイチキュウ) 店 当座 0046043

【基礎老化研究誌購読について】

学会年会費には、簡易印刷版（白黒版）基礎老化研究誌購読料が含まれています。フルカラー版は学会 HP からダウンロードしてご利用ください。全会員にはパスワードを配布しています。パスワードが不明の方は事務局（secretariat@jsbmg.jp）にお問い合わせください。

【日本基礎老化学会の賛助会員のご案内】

日本基礎老化学会では、科学研究を通じて高齢化社会に寄与することをめざしています。学会の活性化や会誌の充実に努め、さらに、その基盤の強化をはかるべく、個人や企業を対象にして広く賛助会員を募っています。会費は一口、年 5 万円です。賛助会員には以下の特典があります。

- （１） 学会誌「基礎老化研究」冊子体を毎号お送りいたします。
- （２） 「基礎老化研究」に広告（A4 半ページ）を年 3 回無料で掲載します。

賛助会員の詳細は学会事務局にお問い合わせください。

【基礎老化研究誌への広告掲載について】

基礎老化研究誌では広告を募集しています。

1 ページ 5 万円で年 3 回掲載します。ご希望の方は学会事務局にメールにてお問い合わせください。

【入退会、休会、住所等の変更、会費等】

入退会、休会、住所変更、会費、その他不明の事がありましたら、遠慮なく事務局へお問い合わせください。また、就職や異動等があった事と思います。大学の研究室や職場を離れた会員については、指導教官や上司から事務局へ連絡をいただくと大変助かります。

【退会について】

退会の処理を適切に行うために、下記の事項をお守りください。

- （１） 退会の際は、ご自身の署名と捺印のある退会届（書式自由）を事務局までお送りください。急ぎの場合は e-mail による退会手続きも受け付けます。
- （２） 日本基礎老化学会の会計年度は 4 月 1 日～翌年 3 月 31 日です。退会が年度途中でも、その年度の「年会費」はお支払いください。退会予定の方は早めにお知らせください。

【e-mail について】（secretariat@jsbmg.jp）

学会事務局と会員の皆様との連絡に e-mail を活用しています。e-mail アドレスを変更した方は、本会事務局宛にお知らせください。協力をお願いいたします。

・ [会員動向](#)（2021 年 3 月 19 日現在）

正 会 員：234 名

学生会員：26 名

合 計：260 名

賛助会員：6 団体

・ [賛助会員一覧](#)

下記の諸団体が賛助会員として本学会を支えています。協力を感謝いたします。
賛助会員は随時募集しております。事務局にお問い合わせください。
あなたの会社も賛助会員として老化研究を支えてみませんか？
入会をお待ちしています！

ココロ力株式会社

小林製薬株式会社

大正製薬株式会社

東洋レヂン株式会社

日本水産株式会社

（株）ファンケル総合研究所

2020 年度 第 3 回日本基礎老化学会理事会 議事録



日時：2020 年 12 月 10 日(木) 13:40-14:30

場所：Teams Web 会議

参加者：丸山理事長、石神副理事長、近藤理事、清水理事、下川理事、樋上理事、堀田理事、三浦理事、細川監事、内田理事補佐、萬谷理事補佐、樋口選挙管理委員長

欠席者：石井理事（委任状有）、杉本理事（委任状有）、海野監事（連絡有）

冒頭に丸山理事長から開会の挨拶があった。

審議事項として以下の 2 項目が審議された。

1. 第 46 回(2023 年)大会(合同会@横浜)大会長選出

事務局から大会長候補者を募るメールを理事、監事、理事補佐、評議員（自薦を含む）、合計 39 名に配信した。有効回答数 17 票（43%）から候補者リスト 10 名を作成し、受諾意思を確認した。その結果、石神副理事長、石井理事、清水理事の 3 名が受諾意思を持つ候補者となった。理事 10 名による記名投票の結果、石神副理事長（7 名）、石井理事（1 名）、清水理事（1 名）、無回答（1 名）の賛成多数で、石神副理事長が第 46 回大会大会長に選出された。2021 年 1 月末までに日本老年学会事務局に通達することも確認された。

2. 日本医学会連合 領域横断的なフレイル・ロコモ対策の推進に向けたワーキンググループについて

清水理事から、日本医学会連合・領域横断的なフレイル・ロコモ対策の推進に向けたワーキンググループへの参加についての説明があり、12 月 15 日（火）18 時に Zoom による説明会が開催されることも紹介された。樋上学術交流委員長を中心に小規模な作業班を立ち上げ、アンケートに回答することが決定された（提出期限 2021 年 2 月 26 日）。また近藤理事から、班員への自薦があり、承認された。

報告事項として以下の 5 項目が報告された。

1. 理事選挙の準備状況：

樋口委員長から、理事選挙の進め方について説明があり、12/14-12/21 に立候補者と候補者推薦を正会員に依頼することが報告された。ただし、正会員は 11 月末までに年会費を納入していることが選挙権、被選挙権の絶対条件であることも説明された。候補者を取りまとめ、2021 年 1 月末の定例理事会で、承認された後、2/15-22 の期間で Web による電磁投票を外部委託して行う。その後、委員会で開票し、結果を公表することが説明された。また理事の中より、候補者リストにおいて立候補か推薦かの区別して周知するのかという意見があり、今回は従来通り区別することが確認された。

2. 第 44 回大会進捗状況

丸山大会長から、コロナ禍の影響で、第 44 回大会の開催形式が変更になったことが説明された。開催日程は変更無く、2021 年 6 月 11 日-13 日に合同会として開催され

ること、合同プログラムは Web 開催、分科会も基礎老化学会と老年社会科学会はハイブリッド開催、他の 4 学会は Web 開催されることが説明された。第 44 回大会は、国立長寿医療研究センター教育研究棟でリアル開催し、一部 Web 配信されること、年明けには演題登録等の準備を進める旨も報告された。

3. 老年学会第 4 回あり方委員会報告

清水委員から、8 月に委員会が Web 開催され、高齢者の自動車運転についての現況について講演を聞いたこと、2021 年 6 月に日本老年学会として、提言を出すことを目指すことが報告された。12 月 14 日に第 5 回あり方委員会が Web 開催されることも予告された。

4. IAGG-AOR2023 第 2 回組織委員会報告

清水委員から、10 月に組織委員会が Web 開催され、2023 年 6 月 12 日-15 日に横浜で基本的にハイブリッド開催することが報告された。プログラムの枠組みを決める段階で、各プログラム（当会は基礎枠）の項目出しを求められ、学術交流委員会の取りまとめのもと、5 課題の項目を提案した。

5. IAGG-AOR2023 Planning Committee meeting :

清水委員から、11 月に Planning Committee meeting が Web 開催され、アジア地域の委員が参加する会議があったことが紹介された。当会委員は 3 名とも欠席したが、上記 4 で提案した課題を含め、議事録掲載の Aging Science 枠の 5 シンポジウムについて紹介された（添付資料あり）。

最後に、次回定例理事会の開催形式について話し合われた。新型コロナウイルス感染拡大のため、2021 年 1 月 30 日（土）夕方開催の日本老年学会関連の委員会・理事会（AP 東京八重洲で開催）がオンライン参加推奨と連絡があったことが説明された。これを受けて、同日昼前後に東京都健康長寿センター会議室で、リアル開催予定であった当学会定例理事会も理事の参集が困難な意見が多数あり、Web 開催とすることに変更された。日時については、改めて庶務理事により日程調整することが予告された。また日本老年学会事務局から、以下の老年学会関連委員会への Web 参加も重ねて説明があった。

2021 年 1 月 30 日（土）16:15～16:45 老年学会 将来計画委員会（30 分）

杉本委員、内田委員、福井委員

2021 年 1 月 30 日（土）16:45～17:15 IAGG-AOR 組織委員会（30 分）

丸山委員、石神委員、清水委員

2021 年 1 月 30 日（土）17:15～18:15 老年学会 理事会（1 時間）

丸山理事長、石神副理事長、清水理事、下川理事、樋上理事、三浦理事

また丸山理事長から、本日開催のあり方委員会で、理事重任制限と事務局アウトソーシングと各種委員会について議論し、次の理事会で委員会提案することが予告された。

2020 年度 第 4 回日本基礎老化学会理事会 議事録



日時：2021 年 2 月 1 日(月) 15:00-17:00

場所：Teams Web 会議

出席者：丸山理事長、石神副理事長、石井理事、近藤理事、清水理事、杉本理事、樋上理事、三浦理事、細川監事、海野監事、萬谷理事補佐、樋口委員長、嶋本評議員

欠席者：堀田理事（委任状有）、下川理事、内田理事補佐

冒頭に丸山理事長から開会の挨拶があった。

報告事項として以下の 20 項目が報告された。

1. 第 3 回理事会議事録

丸山理事長から、第 3 回理事会議事録の報告があった。

2. 中間会計報告

代理の清水庶務理事から中間会計報告があり、第 40 回シンポジウムの余剰金が雑費収入に計上されたこと、第 41 回シンポジウムの余剰金はシンポジウム費用の支出を減額することで収支記載したことが報告された。また、基金については、第 43 回大会が誌上開催となり、若手奨励賞の該当がなかったことから、収支に変動がないことも報告された。

3. 第 41 回(2020 年)シンポジウム報告

世話人の三浦理事から、初めて YouTube による Web 開催（オンデマンド形式）したこと、160 名を超える参加者があり、半数は非会員であったため、学会を周知できたのではと報告があった。質疑応答は後日回答する形式をとったため少なめであった。収支報告については、無料の YouTube を利用したため、多くは講師謝礼として支出し、合計 152,495 円を支出計上したことが報告された。

4. 第 1 回(2020 年)市民フォーラム報告

世話人の丸山理事長から、コロナ禍の新しい生活様式を実践する中で、対策を施し、健康寿命延伸を掲げる松本市で初めての市民フォーラムを開催したことが報告された。松本市や、信州大学、松本大学、および松本歯科大学の協力の下、市民にも参加してもらった。内容の一部は YouTube によるライブ配信も行ったことが報告された。また収支報告書の説明も行われた。

5. 第 44 回(2021 年)大会準備状況報告

大会長の丸山理事長から、2021 年 6 月 11 日(金)–13 日(日)に老年学会との合同開催が説明された。11 日の合同シンポジウムはすべて Web 開催、12-13 日の分科会は、状況が許せばコロナ対策を施し、国立長寿医療研究センター・教育研修棟でハイブリッド開催することが報告された。すでに大会 HP も公開しているので、事前参加登録ならびに 2 月中の演題登録を積極的をお願いする旨が説明された。

6. 第 42 回(2021 年)シンポジウム準備状況報告

世話人の嶋本 評議員から、2021 年 11 月 28 日(日)に第 42 回シンポジウムを山口東京理科大学・大講義室で開催すること、また Zoom によるハイブリッド開催も検討中との報告もあった。またその前日の 27 日(土)に第 2 回市民フォーラムを山口県山陽小野田市市民館で開催することも報告された。

7. 第 45 回 (2022 年) 大会準備状況報告

大会長の細川 監事から、2022 年 7 月 28 日(木)–29 日(金)にキャンパスプラザ京都（予定）で開催すること、老化促進モデルマウス (SAM) 学会とのタンデム開催にして、両学会の会員交流を図ることを検討していることが報告された。

8. 第 46 回 (2023 年) 大会準備状況報告

大会長の石神副理事長から、2023 年 6 月 16 日(金)–18 日(日)にパシフィコ横浜ノースで合同会が開催されること、1 月 20 日にキックオフミーティングが開催され、会場内の部屋割等の議論があったことが報告された。会場費が高額なため、当会は、1 つの部屋の使用希望を提出した旨が説明された。

9. IAGG-AOR2023@Yokohama 組織委員会報告

委員の清水庶務理事から、1 月 30 日夕方に委員会が Web 開催され、上記 8 の合同会の直前の 2023 年 6 月 12 日(月)–15 日(木)に同じ会場で開催され、会場は 3 階までの 10 部屋を使用することが報告された。プログラムの詳細を検討中であること、特別講演の 4 名の招聘者案、今後の予定、広報活動について説明があった。

10. IAGG-World2022@Buenos Aires について

清水庶務理事から、1 年延期が決定した IAGG 世界大会の日程が 2022 年 6 月 12 日(日)–16 日(木)に決定し、ブエノスアイレス国際会議場で開催されることが報告された。その大会では、2029 年に IAGG 世界大会を日本招致するための投票があることが補足説明された。

11. 編集委員会報告

石井委員長から、44-3 号, 45-1 号, 45-2 号の発刊状況およびスケジュール、3 ヶ月に一度のメール会議を毎月に変更予定、「毎月の編集委員会メール配信」の活動内容について報告があった。

12. 広報・HP 委員会報告

石神委員長から、第 43 回大会が誌上開催となり、大会時に委員会が開催できなかったこと、随時 HP 更新作業を杉本委員を中心に迅速に行っていることが報告された。

13. 学術交流委員会報告

樋上委員長から、学会としての広報活動として、他学会大会でシンポジウム等を積極的に企画し当会を周知すること（現在、日本生化学会大会で企画中）、若手支援として、若手シンポジウム企画や交流の場の創設等の考えが報告された。また国外での活動として、韓国を含めた東アジア圏の研究者との交流促進、欧州研究者との交流促進などが報告された。

14. あり方委員会報告

丸山委員長から、理事重任制限について検討するため、老年学会関連学会の規定を調べたところ、ほとんどの学会で、重任制限が無い、もしくは記載なしであった。定年制を設けている学会も多いことが報告された。理事会の審議事項として提案する旨の説明があった。また、事務局外部委託や各種委員会についても議論し、委員会として意見を取りまとめたことが報告された。

15. 選挙管理委員会報告（次期理事選挙について）

樋口委員長から、理事と評議員（合計 39 名）に対する理事候補者の立候補と推薦依頼結果が報告された。12 名（31%）から回答があり、2 名の立候補者と 24 名の推薦候補者があったこと、そのうち 1 名は会費納入規定、4 名は年齢制限規定に抵触するため、リストから除外されることが承認された。今後、立候補と推薦の区分け、研究分野の追記、候補者の内諾の意思確認を経てリスト確定することが決定した。また推薦候補者と選挙管理委員が重複した

委員（2名）は、投票期間は委員から外れることが決定した。さらに理事会開催が1週間遅れたことから、投票期間を2/22～3/1に1週間遅らせることも提案され、承認された。

16. フレイル・ロコモ WG アンケートについて

担当の樋上理事から、日本医学会連合の領域横断的なフレイル・ロコモ対策推進に関するアンケート依頼があり、専門の近藤理事と町田評議員から意見を募り、取りまとめたことが報告された。アンケート内容について、2/7まで理事会内で供覧し、修正点等があれば樋口理事まで連絡することとなった。

17. 老年学会理事会報告

清水庶務理事から、1月30日夕方に理事会がWeb開催され、昨年の理事会議事録、第32回日本老年学会総会の開催概要、第33回日本老年学会総会の会場説明、IAGG-AOR2023の開催概要、IAGG-World2029招致活動概要、IAGG-World2022@Buenos Aires 日程確定、IAGG-World2025@Amsterdam、あり方委員会勉強会について報告があった。また日本老年学会の英語表記（略称がJGS）が日本老年医学会の略称と同一のため、混乱を避けるために、英語表記の改称が提案されていたが、歴史ある英語名称であること、日本老年学会そのもののあり方とも関係することから、継続審議となったことが報告された。また日本老年学会会則の変更が議論になっており、特に第11条と第24条の理事定数について、各学会最低2名として、追加は会員数に応じて決めること等が議論されていることが報告された。本年6月の日本老年学会理事会で会則変更が認められれば、当会割当の理事数が5名から2名に減少することが説明された。

18. 老年学会将来検討委員会報告

委員の杉本理事から、1月30日夕方に委員会がWeb開催されたことが報告された。理事会と内容の多くが重複していたが、高齢者の定義（75歳以上を高齢者、65歳から74歳までを准高齢者）を活発に議論するようにWG等の設置案が議論されたと報告された。

19. 老年学会あり方委員会報告

委員の清水庶務理事から、高齢者の自動車運転を議題に勉強会を4回開催し、2月24日に第5回勉強会が予定されていること、合同会時にシンポジウム企画や提言を発表予定であることが報告された。

20. 事務局外部委託進捗状況報告

清水庶務理事から、事務局外部委託について進捗状況報告があった。毎日学術フォーラム社の最終見積書（約50万弱+税）の供覧、今後の引継スケジュール案、業務委託契約書案について説明された。契約書案に関しては、2/7まで理事会内で供覧し、修正点等があれば清水庶務理事まで連絡することとなった。

審議事項として以下の2項目が審議された。

1. 理事重任制限の撤廃について

丸山理事長から、あり方委員会からの提案により、理事重任制限について議論することが提案された。本件は、委員会報告として本日報告したという点、さらには会則変更を伴うため、継続審議することが説明された。

2. 第43回(2022年)シンポジウム世話人について

清水庶務理事から、大会、およびシンポジウム開催一覧表が提出され、2022年度シンポジウムの世話人に熊本大学・小野会員から世話人の内諾を得ている旨の説明があった。賛成多数で承認されたため、正式に世話人を依頼することに決定した。

最後に、清水庶務理事から以下 4 項目について追加報告された。

1. 山田科学振興財団研究助成の申込みが 2 件あり、当会の推薦枠 2 枠内のため、理事長と事務局による内容確認後、学会推薦することが報告された。申請者は、山口大学の林田先生と国立長寿研の杉山先生。

2. 名誉会員の推薦が告知され、運営細則 2-7-1 が説明された。2 月末を〆切に理事・評議員に推薦依頼することとなった。本年 6 月の理事会、評議員会で審議され、決定予定。

3. 学会年鑑（日本学術会議協力学術研究団体）HP と国立国会図書館インターネット資料収集保存事業（WARP）HP に当会の最新情報が更新・掲載されていることが報告された。

<https://gakkai.jst.go.jp/gakkai/detail/?id=G00883>

<https://warp.da.ndl.go.jp/waid/31730>

4. 次の理事会予定は、理事選挙後の新理事長選任のための新理事会（2021 年 4 月）が予告された。

2020 年度 第 5 回日本基礎老化学会理事会 議事録



日時：2021 年 3 月 22 日(月) 16:00-16:30

場所：Teams Web 会議

参加者：丸山理事長、石井理事、清水理事、下川理事、杉本理事、樋上理事、
三浦理事、細川監事、海野監事、萬谷理事補佐、樋口委員長

欠席者（委任状有）：石神副理事長、近藤理事、堀田理事、内田理事補佐

冒頭に丸山理事長から開会の挨拶があった。

報告事項として以下の 4 項目が報告された。

1. 第 4 回理事会議事録

丸山理事長から、第 4 回理事会議事録の報告があった。

2. 理事選挙報告

樋口委員長から、2021-22 年度の新理事選挙の進め方と結果について報告があった。2020 年 12 月から立候補と候補者推薦を募り、資格や受諾意思の確認を行い、立候補 1 名と推薦 18 名の計 19 名の候補者が決定した。2 月 22 日-3 月 1 日に委託業者（サイエンスウェブ社）による電磁投票で理事選挙を行い、8 名の新理事が決定した。投票率は 50.4%（投票者 117 名/正会員 232 名）であった。3 月 12 日-18 日に新理事による理事長互選が 2 重封筒による無記名 1 名投票で行われ、石神副理事長が新理事長に内定した。

3. 事務局外部委託進捗状況報告

清水庶務理事から、事務局外部委託について進捗状況報告があった。毎日学術フォーラム社と 2 通の契約書に理事長による捺印で、本契約が締結されたことが報告された。9 月 1 日委託開始にむけて、引継スケジュール表が説明された。また、源泉税納入のために、新年度に事業者登録が必要であり、都民税支払（7 万円）と均等割り申告書提出を税理士に委託する費用（7 万円）と合わせて 14 万円の追加費用が発生することも説明された。源泉税発生数は、執筆謝礼として年間約 4 件程度と説明された。

4. 日本老年学会会則変更案報告

清水庶務理事から、日本老年学会会則の変更が日本老年学会あり方委員会で議論と提案があり、特に第 11 条の理事定数について、各学会最低 2 名として、追加は会員数に応じて決めること等が盛り込まれたことが説明された。本年 6 月の日本老年学会理事会で会則案が承認されれば、当会割当の理事数が 5 名から 2 名程度に減少することが説明された。ただし実施時期は未定。

審議事項として以下の 1 項目が審議された。

1. 評議員推薦

丸山理事長から、6 件の評議員申請書とそれらの推薦書が提出されたことが説明された。申請書に不備がないことを確認し、申請順（敬称略）に井上 律子（都健康研）、野田 義博（都健康研）、藤田 泰典（都健康研）、池谷 真澄（都健康研）、川上 恭司郎（都健康研）、高橋 良哉（東邦大）が全会一致で 2021 年 4 月 1 日からの新評議員に就任することが承認された。

最後に、清水庶務理事から以下の 1 項目について報告された。

1. 評議員継続意向確認

清水庶務理事から、3 月 8 日からメールによる継続意向確認を行い、3 月 22 日現在、25 名の評議員から継続意向、1 名の評議員から退任意向があったことが報告された。残り 3 名には、3 回目の継続意向確認を行い、3 月 26 日までに応答が無い場合は、評議員資格を失うことが説明された。また退任される理事（近藤理事、清水理事、下川理事、樋上理事、堀田理事）5 名は、自動的に評議員になることも報告された。



日本基礎老化学会サーキュラー 第 116 号

2021 年 3 月 29 日発行

日本基礎老化学会

企画・発行 日本基礎老化学会事務局

(編集 清水孝彦)

〒173-0015

東京都板橋区栄町 35-2

東京都健康長寿医療センター内

Web site: <http://www.jsbmg.jp/>

E-mail: secretariat@jsbmg.jp